

青森

EARTH

2012

HYPER

ARCHIPELAGO

Light



of

ライト・オブ・サイレンス

Silence

2012年6月9日-7月8日 休館日: 6月25日

出品作家：

磯崎新

キュルル feat. チハルチロル

大庭大介

ダレン・アーモンド

阿部合成

中村宏

小島一郎

工藤甲人

森万里子

マーク・ダイオン

石井七歩

リチャード・ロング

高山良策

伊藤隆介

棟方志功

荒川修作

スプツニ子！

チームラボ

工藤哲巳

今井俊満

mashcomix+TEAM ROUNDABOUT

藤村龍至

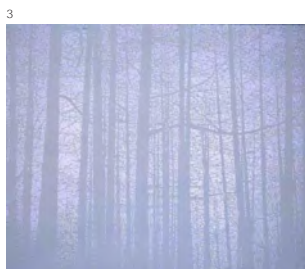
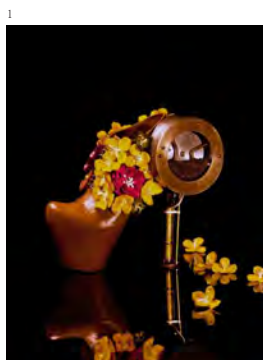
動線設計：青木淳

関連展示：トヨダヒトシ

2011年3月11日の東日本大震災と福島第一原子力発電所の事故以後、都市インフラの脆弱性、財政危機、中央と地方の不均衡など、1960年代以後構築してきた近代社会全体の限界が顕わになった。複雑化しすぎた社会のシステムはウルリッヒ・ベックがいう「危険社会」的状況を全面化させ、コントロール不可能な「新たな自然」として人々の恐怖の対象となった。ここに現代的な霊（アニマ）の現れをみることもできるだろう。

そこで本展覧会では、日本列島全体を交通インフラによってネットワークする1960年代以後の群島の状況と、情報インフラのネットワークによる1990年代以後の新たな群島の状況が構成する現代の「超群島 — Hyper Archipelago」的状況のありようを描き、そこに新しいコミュニケーションを生み出そうとするアーティスト／アーキテクトに焦点を当てる。青森が持つ深い森と大地のイメージを、複雑なシステムの上に生と死が隣り合う現代社会の静かなる光＝「ライト・オブ・サイレンス」に満たされた風景として描く試みである。

画像：1. スプツニ子！「葉の花ヒール」2012 2. チームラボ「グラフィティ@グーグル 東京群島図〈Horizontal〉」2012ー 3. 大庭大介「FOREST#2」2009 4. ダレン・アーモンド「Fullmoon@Miyako」2006 5. 藤村龍至「リトルフクシマ」2011



関連企画：

「トヨダヒトシ スライドショー」

ニューヨークを拠点に、スライドショーという形にこだわりながら活動する写真家・トヨダヒトシの3作品を、美術館に隣接する三内丸山縄文遺跡竪穴式住居内で上映いたします。

日時：6月29日（金） 18:00-19:05  
6月30日（土） 18:00-19:20  
7月1日（日） 18:00-19:50

会場：三内丸山縄文遺跡 大型竪穴式住居内  
定員：各日50名

※ 要申込（017-783-3000）  
※ 詳細はホームページをご覧ください。

青森 EARTH とは……

今年から始まる新しいアートプロジェクト。縄文に創造の原点をたずね、「土着」の意義を見直し、土（earth）に根ざした新しいアート（art）の形を、青森の地で多角的に探るための展示やイベントを行います。

会期：

2012年6月9日（土）- 7月8日（日）

※ 休館日 6月25日（月）

※ 会期最終日を7月16日（月）から7月8日（日）に変更させていただきます。予めご了承ください。

開館時間：

9:00 - 18:00（入館は17:30まで）

観覧料：

一般 500（400）円

大学生・高校生 300（240）円

中学生・小学生 100（80）円

※（ ）内は20名以上の団体料金

※ 心身に障害のある方と付添者1名は無料

※ アレコホール、奈良美智展示室、成田亨展示室もご覧いただけます。

キュレーション：

飯田高誉（青森県立美術館美術統括監）

藤村龍至

アソシエイトキュレーション：

高橋洋介（青森県立美術館エデュケーター）

会場構成：

藤村龍至建築設計事務所

アクセス：

- JR新青森駅からルートバスねぶたん号（左回り）  
新青森駅南口バス停乗車「県立美術館前」下車（約10分）
- 青森駅から青森市営バス青森駅前6番バス停乗車  
運転免許センター行き「県立美術館前」下車（約20分）
- 青森空港から車で約20分
- 東北縦貫自動車道青森IC. から車で約5分



お問合せ：

青森県立美術館

〒038-0021 青森市安田字近野 185

Tel 017-783-3000 www.aomori-museum.jp

青森県立美術館  
AOMORI MUSEUM OF ART